

クロストリジウム・サーモセルルム由来のアセチルキシランエステラーゼ、組 換え型

Cat. No. NATE-1195

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 酵素学において、アセチルキシランエステラーゼ(EC 3.1.1.72)は、キシランおよびキシロ

オリゴ糖の脱アセチル化という化学反[[を触媒する酵素です。この酵素は加水分解酵素のファ

ミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合に作用するものです。

別名 アセチルキシランエステラーゼ; EC 3.1.1.72; 188959-24-2; 9000-82-2

製品情報

由来 クロストリジウム・テルモセラム

形態 3.2 M 硫酸アンモニウムで供給されます

EC番号 EC 3.1.1.72

CAS登□番号 188959-24-2;9000-82-2

分子量 37700 Da

純度 > SDS-PAGEによって判断された95%

活性 175 U/mg

濃度 262.5 U/ml

最適pH 7

最適温度 50°C

単位定義 1ユニットは、50 mMリン酸緩衝液(pH 7)中で、1 mg/mlのBSAを含む50℃で、p-

nitrophenyl acetate(1 mM)から1 μmolのp-nitrophenolを1分間に放出するのに必要な

酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°Cで保管してください(常温で発送されます)